

**新型コロナウイルスの状況下における
第62次南極地域観測に関する
基本的な考え方及び対応方針**

新型コロナウイルス対応の基本的な考え方

1. オゾンホールが発見等、世界的に重要な成果を上げ、地球環境変動の長期連続観測を行ってきた**南極地域観測事業の継続を目指す**。
2. 昭和基地での越冬及び観測継続のため、「**越冬隊の交代**」と「**物資の輸送**」を**基本とする**。その他の計画については支障のない範囲に絞り込む。
3. 不確定要素を可能な限り排除し、**基本的な行動計画は、他国を經由しないものとする**。**状況の改善が見られた場合のオプションを準備し**、今後の状況変化を注視しつつ、当初計画のうち可能な部分の実現を目指す。
4. 観測隊員及び「しらせ」乗員の安全を確保するため、**適切な感染防止対策を講じつつ、「しらせ」及び南極での発生防止を徹底する**。
5. 「しらせ」が昭和基地まで到達できない場合の対応等についても、その時点の状況に応じて判断する。

基本的な考え方に基づく対応方針について

例年と今年度との基本的な対応方針の相違は以下のとおり。

事項	例年の場合	今年度（第62次計画）
検疫期間等	設けていない (6月の隊員決定前に健康診断を実施)	<ul style="list-style-type: none">乗船前に2週間の検疫期間を設ける検疫期間前後に感染が確認された場合に備え、交代要員を用意 (健康診断は例年通り実施)
隊員の「しらせ」 乗・下船地	乗船(往路)：フリーマントル（豪） 下船(復路)：シドニー（豪） ※日-豪 間は民間航空機で移動	日本（横須賀）
観測計画等の決定	6月開催の本部総会で、 観測計画等を決定	<ul style="list-style-type: none">6月の本部総会では「基本プラン」と「オプションプラン」により準備を進めることを決定最終決定は11月の本部総会で行う
出発前の 本部主催壮行会	11月に開催	開催しない

第62次南極地域観測の対応方針に基づく基本プラン等について

対応方針に基づく、行動計画の「基本プラン：A」と「オプションプラン：A+a」は以下のとおり。

事項	当初計画	A（基本プラン） しらせ運航可能な場合	A+a（オプションプラン） オーストラリアに寄港でき、燃料補給等 が可能な場合
観測隊の行動区分	本隊・別動隊・先遣隊で構成	本隊のみ	
DROMLANの利用	利用	緊急時対応を除き計画しない	
観測隊ヘリ	チャーターする	チャーターしない	
「しらせ」の行動計画	【往路】 日本⇒豪・フリーマントル（燃料補給・観測隊乗船）⇒昭和基地 【復路】 昭和基地⇒豪・シドニー（燃料補給・観測隊下船）⇒日本	日本⇒昭和基地⇒日本 （他国に寄港しない(燃料補給しない)ことを前提に、日本－基地間を単純往復）	日本⇒昭和基地 ⇒フリーマントル(燃料補給等) ⇒南大洋(海洋観測) ⇒シドニー⇒日本
行動日数 (うち、昭和基地沖 行動日数)	151日 (48日)	95日 (30日)	146日 (40日)
隊員編成	80名 (越冬隊35+夏隊45) ※さらに、同行者23名を予定	43名 (越冬隊31+夏隊12)	50名 (越冬隊31+夏隊19)
当初計画を100%とした場合の活動割合	100%	60%	72%

第6 2次南極地域観測隊員候補者名簿

プランA

区分	隊員数	既に決定した者	今回決定する者	計	未決定者
越冬隊	31人	1人	14人	15人	16人
夏隊	12人	2人	4人	6人	6人
計	43人	3人	18人	21人	22人

プラン+α

区分	隊員数	既に決定した者	今回決定する者	計	未決定者
越冬隊	-	-	-	-	-
夏隊	7人	0人	0人	0人	7人
計	7人	0人	0人	0人	7人

プランA+α

区分	隊員数	既に決定した者	今回決定する者	計	未決定者
越冬隊	31人	1人	14人	15人	16人
夏隊	19人	2人	4人	6人	13人
計	50人	3人	18人	21人	29人

○越冬隊

2020年6月29日現在

区分	担当分野	ふりがな 氏名	年齢	所属	隊員歴	現住所	備考
副隊長(兼越冬隊長)		あべ 敏広※	58	気象庁 観測部	第35・45次越冬隊	東京都葛飾区	本部決定済
基本観測	定常観測	気象					
		モニタリング					
		宙空圏変動					
	モニタリング	いたて 元成	41	伊達市教育委員会だて歴史文化ミュージアム		北海道伊達市	
	モニタリング	にしむら 祐香	24	北海道大学大学院理学院		長野県飯田市	
研究観測	重点研究観測	サブテーマ1					
	一般研究観測	しばた 和宏	45	福岡大学理学部	第57次夏同行	北海道苫小牧市	
機械	雪上車						
	車両全般	すずき 聖章	32	いすゞ自動車株式会社		神奈川県茅ヶ崎市	
	発電機エンジン						
	発電機制御盤	おかの りょうじ	25	株式会社日立製作所		茨城県日立市	
	機械設備全般						
	電気設備全般	うえはら 誠	44	株式会社関電工	第47・51・55次越冬隊	神奈川県川崎市	
設営	通信						
	調理	はまやうち 健司	42	元株式会社ハウジングニチエー	第56次越冬隊	東京都武蔵野市	
	医療	みやまき 栄治	52	TMGあさか医療センター		静岡県浜松市	
		なかの 志保	42	元なごやかクリニック		和歌山県紀の川市	
	環境保全						
	多目的アンテナ	とのか 慎介	34	NECネットエスアイ株式会社		埼玉県和光市	
	LAN・インターネット						
	建築・土木						
	野外観測支援	くぼき 学	54	元ソーワエンジニアリング株式会社		北海道勇払郡	
	庶務・情報発信	きんじょう 順二	29	琉球大学総務部		沖縄県浦添市	

○夏隊

区分	担当分野	氏名	年齢	所属	隊員歴	現住所	備考
隊長(兼夏隊長)		橋田 元※	56	国立極地研究所南極観測センター	第39・44・54次越冬隊 第43・52・53次夏隊	東京都国立市	本部決定済
副隊長(兼夏副隊長)		金子 宗一郎※	48	国立極地研究所南極観測センター	第49次越冬隊 第56・60次夏隊	東京都国分寺市	本部決定済
基本観測	定常観測	電離層					
		海底地形調査・潮汐	吉田 夏希	30	海上保安庁海洋情報部	東京都日野市	
		測地	井出 順子	38	国土交通省国土地理院基本図情報部	千葉県流山市	
	モニタリング	地図変動					
生態系変動							
研究観測	重点研究観測	サブテーマ2					+α
							+α
	一般研究観測						+α
							+α
							+α
							+α
							+α
設営	機械	電気設備	正治 徹一	28	株式会社関電工	東京都東村山市	
	建築・土木	現場監督					
		建築					
		鉄骨					
	庶務・情報発信	大友 康太郎	28	国立極地研究所南極観測センター		東京都豊島区	

※隊長及び各副隊長については、令和元年11月6日開催の「第155回南極地域観測統合推進本部総会」において決定済み